

平成20年度財務の概要

学校法人津曲学園の平成20年度決算は、監事及び公認会計士の法定監査を終え、平成21年5月29日開催の理事会並びに評議員会にて、承認されましたので財政状況について報告します。

主な事業

平成20年度の事業総額は1,616百万円で、そのうち施設関係の主なものは、鹿児島高校校舎改築関係工事1,095百万円（総工事費 2ヶ年継続工事 合計2,010百万円）、大学の4号館屋上空調機器取替工事18百万円、鹿児島修学館の食堂改修工事18百万円等で総額1,176百万円、設備関係では、教育関係設備充実の為、学生用ノートパソコンや8号館AV設備等をリース総額で350百万円、図書は73百万円、機器備品は11百万円の事業を行いました。

収支の概要

消費収支については、消費収入の部で、帰属収入は6,399百万円となり前年度決算に比べて575百万円の減少となりました。

その主な要因は、学生・生徒数の減少で在籍者数が前年比342人の減少、学生納付金が前年度比265百万円の減少、補助金が46百万円の減少、雑収入は退職金財団交付金・退職金社団交付金の増収により46百万円の増加となりました。

また、基本金組入額は391百万円で、その主なものは、鹿児島高校校舎改築工事300百万円（建物・外構・人工芝998百万円－取壊し建物の取得価格698百万円）、大学の4号館屋上空調機器取替工事18百万円、図書の購入等であります。

消費収入の部合計は6,008百万円となり、前年度比422百万円の増加となりました。

一方、消費支出の部合計は、7,132百万円で前年度比545百万円の増加となりました。

その主な要因は、人件費が64百万円の増加、教育研究経費が89百万円の増加、管理経費は50百万円の増加、資産処分差額は347百万円の増加となりました。

消費収支差額は、鹿児島高校校舎改築関係723百万円の影響により、1,124百万円の支出超過となり、次年度繰越消費収支超過額は1,334百万円となりました。

1. 平成20年度の資金収支は、収入合計10,430百万円、支出合計9,908百万円となりました。

収支は522百万円のプラスとなり、次年度繰越支払資金は5,848百万円となりました。

2. 平成20年度末、総資産合計24,899百万円となり、平成19年度比662百万円の減少となりました。

①資産の内訳は

イ. 固定資産は18,857百万円で前年度比391百万円の減少

内訳、有形固定資産が16,386百万円で前年度比436百万円の増加となりました。

主因は鹿児島高校校舎改築工事等に伴い建物・構築物が392百万円の増加。減価償却額の累計額は5,776百万円で前年度比93百万円減少となりました。その他の固定資産は2,471百万円で特定資産取崩しにより前年度比827百万円の減少となりました。

ロ. 流動資産は6,042百万円で前年比272百万円の減少となりました。

②負債の内訳は

イ. 固定負債は1,794百万円で前年度比22百万円の減少

内訳、長期借入金が465百万円で前年度比48百万円の減少、退職給与引当金は1,329百万円で前年度比26百万円の増加となりました。

ロ. 流動負債は2,092百万円で前年度比92百万円の増加

内訳、未払金および前受金等が2,044百万円で前年度比92百万円の増加となりました。

ハ. 基本金の部合計は、22,347百万円で前年度比391百万円の増加

ニ. 翌年度繰越消費支出超過額は、1,334百万円となり前年度比1,124百万円の増加となりました。